

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【公開番号】特開2020-31885(P2020-31885A)

【公開日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2020-009

【出願番号】特願2018-161069(P2018-161069)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月31日(2020.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて、

遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、

前記遊技制御手段により制御され、少なくとも前記可変表示を行うことが可能な可変表示部を含む情報表示部と、

所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、を備え、

前記所定演出実行手段は、前記所定演出として、

前記有利状態に制御されることの示唆を行う第1結果演出と、

設定値に関する示唆を行う第2結果演出とを実行可能であり、

特定条件が成立したときに前記設定手段による設定値の設定を行うことが可能な設定状態に移行し、設定状態に移行したときに前記可変表示の実行中には表示されない特定表示を前記情報表示部において行うことが可能であり、所定のエラーが発生した場合に該所定のエラーが発生したことを特定可能な特殊表示を前記情報表示部において行うことが可能である、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 本願請求項1の遊技機は、

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて、

遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定

手段と、

前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、

前記遊技制御手段により制御され、少なくとも前記可変表示を行うことが可能な可変表示部を含む情報表示部と、

所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、を備え、

前記所定演出実行手段は、前記所定演出として、

前記有利状態に制御されることの示唆を行う第1結果演出と、

設定値に関する示唆を行う第2結果演出とを実行可能であり、

特定条件が成立したときに前記設定手段による設定値の設定を行うことが可能な設定状態に移行し、設定状態に移行したときに前記可変表示の実行中には表示されない特定表示を前記情報表示部において行うことが可能であり、所定のエラーが発生した場合は該所定のエラーが発生したことを特定可能な特殊表示を前記情報表示部において行うことが可能である。

(1) 特別識別情報（例えば、特別図柄）の可変表示を行い、表示結果が特定結果（例えば、大当たり表示結果）となったことに基づいて、第1可変入賞手段（例えば、特別可変入賞球装置7）を遊技媒体（例えば、遊技球）が進入し易い特定態様（例えば、開状態）に変化させることができ遊技機（例えば、パチンコ遊技機1）であって、

普通識別情報（例えば、普通図柄）の可変表示を行い、表示結果が所定結果（例えば、普図当たり）となったことに基づいて、第2可変入賞手段（例えば、可変入賞球装置6B）を遊技媒体が进入し易い所定態様（例えば、開状態）に変化させることができあり、

所定演出（例えば、図10-1に示す所定演出）を実行可能な所定演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120）を備え、

設定変更操作に基づいて、遊技者にとっての有利度（例えば、大当たり確率）が異なる複数種類の設定値（例えば、設定値1～6）のうちからいずれかの設定値を設定可能であり、

前記所定演出実行手段は、前記所定演出として、

前記第1可変入賞手段が前記特定態様に変化することを示唆する第1結果演出（例えば、特図連動演出による特別可変入賞球装置7が開状態に変化することにより大当たりとなることを示す演出）と、

前記第2可変入賞手段が前記所定態様に変化することを示唆する第2結果演出（例えば、普図連動演出による可変入賞球装置6Bが開状態に変化することにより電チュー開放を示す演出）と、

設定値に関する示唆を行う第3結果演出（例えば、設定示唆連動演出として設定値を示唆する演出）とを実行可能である。